

うつわよみがえる

2025
作品ナンバー1431

この作品は、2024年（令和6年）1月1日に能登半島を襲った地震で壊滅的被害を受けた輪島塗と、その再生に挑む技術者たちの日々を記録したドキュメンタリー映画である。



能登半島地震によって日本の伝統工芸・輪島塗も大きな影響を受け、被災地の職人たちは自宅や仕事を失い、生産は停止状態に陥った。

輪島で三代続く塗師（ぬし）の坂下光宏（62歳）も、明治の創業以来建ち続けた塗師蔵を失う。しかし工房は激震に耐え残った。仕事が途絶え、復興の道筋さえ見えない中、坂下が始めたのは震災で傷ついた器の修復だった。輪島塗は何層にも塗り重ねられた堅牢な下地漆が器を守っている。修復作業はその漆層を剥がし、損傷がどの深さまで及んでいるのかを見極めながら、あらたに下地を施すのだ。

被災者は、失われた日常や家族の思い出を器に投影して坂下に修復を依頼する。坂下は「諦めなくて大丈夫」と励ましながら、器をよみがえらせていく。だが同年秋の豪雨によって、器は押しよせる泥流に飲み込まれ、再び傷を受けるのだった。

地震や豪雨という自然災害の逆境の中で、映画は伝統文化の継承と再生への道のりを歩む職人の姿を、その技術とともに克明に描いていく。

記録
ビデオ
カラー／93分

- 自主企画
- 助成
アーツカウンシル東京
- 協力
坂下光宏
惣田登志樹
大橋 清
荒川莉沙
米本有希
谷内 均
坂口竜吉
内藤銀器製作所
西照寺
諸口俊子・八代重
角 章子
他

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 製作助手
村山英理
- 脚本・演出
井上 実
- 撮影
今野聖輝
中井正義
- 編集
村石 誠
- 編集助手
細矢知里
- 音楽
清水健太郎
- 音響
黒澤道雄
- 録音スタジオ
協映